

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第5回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○ 「(仮称) 地域独自予算」の概要（案）について

(2) 自主的審議事項（公開）

○ 各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和4年8月23日（火）午後6時30分から午後8時25分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、白濱昭博、田中裕子（副会長）、谷 健一
藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭
渡邊康子、渡部忠行（欠席4人）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：山田委員に依頼

次第3 議題「(1) 報告事項」の「『(仮称) 地域独自の予算』の概要(案)について」に入る。

事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・資料、スライドにより説明

【太田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【渡部委員】

説明いただいた内容は、一般の住民にはどういふふうにPRする予定か。9月末までに予算を積算して提出することは、時間的に非常に難しいのではないか。

【小林センター長】

PRは準備が整い次第、順次行っていく。新しい事業を実施するため手探りで進めている状態だが、なるべく早いうちに、皆さんにお届けしたいと考えている。

【渡部委員】

これまで地域活動支援事業に提案してきた団体の多くは、もう提案は出来ないと思われる。要望として早くこの情報を、団体のリーダーに伝えてあげてほしい。

【小林センター長】

ご指摘のとおりである。これまで地域活動支援事業に提案してきた団体には、早急に説明会形式でお集まりいただきたい。ただし、この場で説明会の時間や場所を伝えることはできない。日程の調整を済ませ早期開催を目指すので、了解いただきたい。

【渡部委員】

早期に説明会を行ってもらえると、各団体が事業費の調査に入りやすくなるため、是非ともよろしくお願ひしたい。

【太田会長】

補足すると、この春日区協議会が本日開催され、説明を受けられたのは幸運だった。昨日、28区の地域協議会会長会議で説明があったばかりで、他の地域協議会の方たち

には、まだ情報が多分行き届いていないと思う。

今年度、時間的に提案が困難であっても、令和6年度に向けて資料作成等も可能となっていて、今年中に出さなくては駄目という話ではない。

慌てて雑な資料を提出するよりは、逆に熟慮できるのであれば、それも一つの方法だと思う。

【小林センター長】

制度概要を広く速やかにお伝えすることは、取り組むべき課題だと思っている。

ただ、周知を図る前に地域協議会に報告して承認いただく段取りも重要である。

説明会の準備は、全くしていない訳ではなく、これまで申請いただいた団体のリストアップなどを始めているところである。準備は鋭意進めているので、ご理解いただきたい。

【谷委員】

提案の書式は決まっているのか。9月末までに提案を出さなくてはならないのか。

【小林センター長】

現段階でお示しする書式はないが、説明会時には示したい。また9月末で締め切るのではなく、団体によって事情もあると思うので、柔軟な対応をさせていただきたい。

【吉田義昭委員】

今日説明いただいた内容は上越タイムスに載っていた。団体には、今度こうなりますよと行政から説明するものと受けとめてよいか。

【小林センター長】

同じ情報をみんなで持ち合うということのを心がけ、行政から団体に説明を行う。

【吉田義昭委員】

説明の方法については、詰めの準備をしているという認識でよいか。

【小林センター長】

そうである。

【吉田義昭委員】

うまくPRして、提案される団体に速くお知らせが出来れば、スムーズに事務処理が進むと思う。

【小林センター長】

言われる通りである。ご意見を承りたいと思う。

早いうちに、皆さんにお知らせして、早く準備をしていきたい。ただし、全市的に同じ流れを進めなくてはならないし、地域協議会など関係する組織への説明や承諾を得なければならない。何とかして早いうちに、様式の整理などして、全市共通のお知らせができるよう心がけていくつもりである。

【太田会長】

全市的な取組であり、春日区のみ先んじて進めることはできないので、早期に各センターで対応を共有して説明いただきたい。また不公平感が出ないように、全世帯が周知できるような対応により、新しい提案が出てくるよう期待している。

【渡部委員】

地域活動支援事業は終了すると理解していたので、少し違う方向に軌道修正した感じはある。私が所属している交通安全協会は、地域活動支援事業で行ってきた活動を来年は出来ないと思っている。今まで制度を活用して提案してきた団体にとってみれば、唐突感は否めない。

【小林センター長】

地域の団体へ説明するのは市の仕事であり、皆さんの意見を受け止めて、私も速やかに説明を行いたいと思っている。ただ、この場は地域協議会である。地域協議会委員の皆さんには、この情報を活かして、自主的審議を進めていただきたいと思う。市が心配される部分の説明を行うので、地域協議会とは切り分けて審議いただきたい。

【太田会長】

1回の説明で理解するのは、なかなか難しいが、新しい制度として、協議会だけではなく地域の団体・市民・まちづくりセンターが、地域活性のために予算要求できるシステムと理解したい。今年度はスケジュール的にはタイトな部分はあるが、今年度限りというわけではなく、令和6年度に向けて、提案書を作成していけば、十分可能であるため、慌てて何か雑なものを作るよりも、もう1年かけて丁寧なものを予算要求する方がよいと感じた。3分科会において吟味を重ね、自主的審議を行いたい。

【谷委員】

今年9月に提案したものが、令和5年度予算に取り上げられるとの事だが、提案団体が市に提出する様式は、いつ示されるのか。

【小林センター長】

谷委員の質問に関しては、全体の進行もあるため個別に対応させていただく。

【吉田副会長】

今の説明と上越タイムスの会長会議に関する記事から、個人的には令和5年度の事業に提案するのは、多分スケジュール的に厳しいと思う。私は観光分科会で、事業概要を具体的に作ってあるが、新しい様式で書き換え、作らなくてはいけないので非常に難しいと率直に感じている。

また、会長会議で会長から出た意見の主要なものを紹介して欲しい。

【小林センター長】

会長会議では独自予算について様々な意見が出た。

地域活性化の方向性との関連性、地域協議会のあり方、そして地域独自予算で地域活性化が本当にできるか等の質問があった。また、活性化できる区とできない区の差も生じるのではないかという発言もあった。

前向きな意見としては、将来を見据えた事業が、地域独自予算によって予算化できるのではないか等があった。

【太田会長】

私は謙信公祭の片付けがあり出席できなかったが、代理で参加された田中副会長から、今の説明に補足いただきたい。

【田中副会長】

会長会議では、10人程度が質問された。ある会長からは、予算の上限が決まってないことを不安に思っていると言われた。そのほか複数区の事務局を担うまちづくりセンターは、業務が疎かになってしまわないかという意見が出た。

中川市長は、皆さんの意見が大きくなれば考えなければいけないが、行政マンは優秀なので大丈夫と話されていた。また地域協議会に求めるものとして、地域の声を聞いてください、地域の宝を発掘してくださいと言われ、地域のビジョンを決めていく仕事が地域協議会委員の一番大きな役割と解釈していると言われた。

その他に、地域協議会には実働部隊がないのでどうするかといった踏み込んだ意見も出ていた。

地域独自の予算は、スキルアップしながら、良い方向に行くように考えていると説明を受けた。また、資料は全戸配布を予定していると言われていた。

【太田会長】

地域独自の予算について不明な点があれば、個別に中部まちづくりセンターへ問い

合わせてほしい。

【太田会長】

以上で次第3 議題「(1) 報告事項」の「『(仮称) 地域独自の予算』の概要(案) について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」に入る。報告すべき内容がある分科会から説明願う。

【吉田副会長】

観光分科会は現在ストップしている。具体的には、以前作成したマスタープランに示したスケジュールから具体的な項目を挙げて、それを提案という形に仕上げたいのだが、谷委員が言われた通り、提案する様式がないので、書けないで進めないでいる。早く様式を示してもらわなくては仕様がなない。

【本多委員】

まず防災士会支部を立ち上げる前段として、各町内会にどのような防災グッズがあるかをアンケートした。その結果を一つにまとめて各町内会に一部ずつ配布したいと考えている。そして、自助・共助・公助のうち、共助において柔軟な対応が取れるように、町内会館に配置しておけば、より便利だと思う。今後は、この支部の立ち上げをどう進めるかについて相談しながら、具体的な日程を進めていきたい。

【吉田義昭委員】

前回の福祉分科会では、これまでの経過を説明し、委員に福祉分科会で実現させるマスタープラン的な考えのレポートを個別配布した。そして、どう進めればいいのかと意見を聞いたところ、谷委員がいきいき春日野コンサートに関与されていることもあり、母体となっている春日野町内会長さん等と意見をすり合わせたいという提案を受けて、関係者と意見交換させていただいた。

結論から言うと、春日野いきいきコンサートを春日地区全体の文化的な活動として取り上げていく方向に進めることで賛同いただいた。

今後は、これを具体的に進めていくための考え方を打合せてもらう。そして協議委員に報告し、理解いただいて賛同いただけるようにしたい。事務局から説明を受けた地域独自の予算の考え方に十分当てはまる考えである。町内会長連絡協議会の三役と説明会を設けるように進めていきたいと考えている。

【太田会長】

3分科会のリーダーから進捗状況について説明いただいた。

説明の内容について、何かご意見や確認したいことはないか。

【渡部委員】

明日は防災士の講習会があるので、支部の話が出るかもしれない。いきいき春日野について大事なのは、町内会長連絡協議会の決定がないと将来的に続かないという事である。個人的には青少年育成会議で引き受けていただけないかと思っている。

【太田会長】

先ほど福祉分科会で町内会長連絡協議会の三役と面談しながら話を進めていきたいとの説明があったが、個別ではなく町内会長連絡協議会の皆さんと意見交換会をしたいが、予定が取れていない。

【吉田義昭委員】

現在三分科会で審議し合っている内容は、町内全体にからんでくるので、福祉分科会だけの議題ではなく、全体の意見交換会の形の進め方でよいと思う。みんなで各町内会から了解をもらい、令和6年度に初めて実現するように進めたい。

【太田会長】

町内会長連絡協議会との懇談は、各分科会の協議内容を町内会長へ持ちかけたり、協力を求めるということは大事なことだと思うので、タイミングが合えば調整に入りたいと思う。

事務局から、町内会長連絡協議会に連絡を取り、なるべく早いうちにコミュニケーションが取れる場を作ればよいと思う。

【藤井係長】

早期にできるかは不明だが、いずれにしても、自主的審議をまとめていただく途中の段階で、地域の理解を得ることは必須だと思うので、お話しする場を設けるよう調整したい。

【太田会長】

事務局に一度預けて、町内会長連絡協議会と調整を取る形でよいか。

【吉田義昭委員】

了解した。

【太田会長】

3分科会でそれぞれ審議を進めていただいて、大変ありがたい。

ただ地域協議会が実働部隊ではないことは、原点に戻って考えなくてはならない。

実働いただくのは地域の団体であり、地域協議会は下支え役であることを念頭に置きながら、分科会の中で地域活性化の方策を協議していただききたい。

以上で次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) その他」である。本日の議題の他、報告や確認すべき事項等について発言を求める。

【吉田副会長】

本日の観光分科会は、メンバーが2人しかいないため協議にならない。他のメンバーは忙しそうなので、メンバーの再編成を検討いただけないか。

【太田会長】

正副会長と事務局で、後日この件を相談させていただくこととしてよいか。

(よしの声)

以上で次第3 議題「(3) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会について説明

【太田会長】

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：9月20日（火）午後6時30分から 市民プラザ会議室（予定）
- ・ 内容：（自主的審議事項）各分科会の審議状況
- ・ 会議の閉会を宣言

※閉会后、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。